

2022年度当初予算 都道府県観光予算アンケート ①北海道・東北

観光の復活、地域活性化に注力

観光経済新聞社は、47都道府県の観光担当課を対象に、2022年度当初予算の観光予算額についてアンケート調査を実施した。地方ブロックごとに回答結果を紹介する。前年度に続きコロナ禍が影響する中での予算編成となったが、日本人の国内旅行、外国人の訪日旅行の復活に向け、観光施策に予算が計上されている。当初予算に前年度を補正予算と合わせ、今後実施予定の観光需要喚起策についても聞いた。

入った自治体のみ要因目には注意が必要だ。当初予算を補正予算と一体で編成する場面もあり、当初予算額について回答を求めた結果、観光担当課に計上する額と、当初予算額とを把握することができない。自治体別の各表のうち「当初観光予算」に付けた加えた記載部分は、予算の大幅な増減などの要因として留意すべき事項の欄に記載する。

22年度当初予算の「観光」部自治体からは期限を過ぎ、当初予算額一は、各自自治体の観光担当課に計上した。観光担当課に計上した額について回答を求めた結果、観光担当課に計上する額と、当初予算額とを把握することができない。自治体別の各表のうち「当初観光予算」に付けた加えた記載部分は、予算の大幅な増減などの要因として留意すべき事項の欄に記載する。

【観光需要喚起策】の欄は、旅行・宿泊費の割引補要喚起策について聞いた結果、22年度当初予算、ある程度は考慮が必要だ。22年度当初予算、ある程度は考慮が必要だ。22年度当初予算、ある程度は考慮が必要だ。

※「観光需要喚起策」の記載欄 概要、期間は回答時点の状況

いる施策の概要を記入してもらった。国費を活用した県民割事業、地域ブロック割事業、都道府県版GOTトラベル事業などは、国の方針に沿って実施時期などが左右される。概要や実施時期などの記載内容は、5月中旬の回答時点の状況であることに注意してほしい。

本社調査 2022年度

青森県

【当初 観光予算】

2,682,430千円 (前年度比105.1%)

【予算額上位】

- ①国際誘客対策事業費(韓国・台湾・中国・香港・タイ・豪州・欧米)(115,228千円)
- ②中国航空路線定着促進事業費(54,064千円)
- ③「青森の縄文遺跡群」誘客活用推進事業費(53,226千円)
- ④県立美術館企画展示費(50,489千円)
- ⑤東北D C活用・域内連携誘客宣伝推進事業費(32,565千円)

【分野別主要事業】

- 日本人国内旅行誘客促進 ○「青森の縄文遺跡群」誘客活用推進事業費(53,226千円)
- 青森型マイクロリズム推進事業費(36,227千円)
- 東北D C活用・域内連携誘客宣伝推進事業費(32,565千円)
- インバウンド誘客促進 ○国際誘客対策事業費(韓国・台湾・中国・香港・タイ・豪州・欧米)(115,228千円)
- 中国航空路線定着促進事業費(54,064千円)
- 済州・台湾友好交流推進事業費(11,342千円)
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など ○県立美術館企画展示費(50,489千円)
- 滞在型観光コンテンツ創出推進事業費(29,405千円)
- 県美の新たな魅力創出事業費(10,095千円)
- 観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など ○DMO観光デジタルマーケティング支援事業費(19,201千円)
- コンテンツ話題力強化事業費(13,387千円)
- 観光地域づくり人材育成事業費(13,120千円)

◆観光需要喚起策

- 県内旅行誘客促進キャンペーン事業
- 2021年度2月補正予算(1,087,800千円) 実施期間：4月～ 県内、近隣道県居住者を対象とした宿泊キャンペーンを実施。
- 新たなGOTトラベル事業
- 2021年度2月補正予算(8,032,959千円) 実施期間：未定 観光関連産業の維持および観光需要の獲得を図るため、国の補助制度に呼応した宿泊キャンペーン(宿泊割引、クーポン券付与)を実施する。

北海道

【当初 観光予算】

3,240,185千円 (前年度比42.4%)

2022年2月補正、繰越分を含む予算は60,064,194千円(467.2%)

【予算額上位】

- ①教育旅行支援事業費(1,582,211千円)
- ②誘客促進・需要喚起による北海道観光再興事業費(426,714千円)
- ③地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業費(239,262千円)
- ④広域観光周遊促進事業費(154,935千円)
- ⑤北海道観光誘致推進事業費(135,525千円)

【分野別主要事業】

- 日本人国内旅行誘客促進
- 誘客促進・需要喚起による北海道観光再興事業費(国内分)(239,122千円)
- ポストコロナへ向けた安全・安心な観光の情報発信事業費(39,356千円)
- どさんこ旅サロンの運営・利用促進事業費(12,720千円)
- インバウンド誘客促進
- 誘客促進・需要喚起による北海道観光再興事業費(国際分)(187,594千円)
- アドベンチャートラベル推進事業(147,423千円)
- アドベンチャートラベル・トラベルワールドサミット開催推進費(19,703千円)
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など
- 地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業費(239,262千円)
- 広域観光周遊促進事業費(154,935千円)
- 広域連携DMOとしてのデジタルマーケティング事業費(70,844千円)
- 観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など
- 観光人材確保・育成事業費(54,500千円)
- ユニバーサルツーリズム推進事業費(19,895千円)
- 住宅宿泊事業法関連事業費(14,441千円)

◆観光需要喚起策

- 北海道GOTトラベル事業費
- 2021年度2月補正予算(38,685,907千円) 実施期間=未定
- 国の補助制度を活用し、道内外の旅行者を対象とした旅行商品の割引を支援。

宮城県

【当初 観光予算】

1,048,025千円 (前年度比187.6%)

【予算額上位】

- ①唐桑半島ビジターセンター津波体験施設整備事業(228,993千円)
- ②観光地の空間的魅力創出事業(100,000千円)
- ③みやぎ観光デジタルプロモーション事業(92,000千円)
- ④観光誘客推進事業(84,400千円)
- ⑤域内誘客・周遊事業(80,000千円)

【分野別主要事業】

- 日本人国内旅行誘客促進 ○観光誘客推進事業(82,470千円)
- 域内誘客・周遊事業(80,000千円)
- インバウンド誘客促進 ○みやぎ観光デジタルプロモーション事業(92,000千円)
- 外国人観光客誘致促進事業(44,168千円)
- 外国人観光客受入環境整備促進事業(15,259千円)
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など ○観光地の空間的魅力創出事業(100,000千円)
- 宮城オルレ推進事業(54,200千円)
- 観光戦略推進事業(35,000千円)
- 観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など ○松島湾周遊体験観光地整備事業(61,000千円)
- 教育旅行誘致促進事業(58,200千円)
- 未来を担う観光人材レベルアップ支援事業(12,000千円)

◆観光需要喚起策

- 宿泊・観光需要創出事業
- 2021年度2月補正予算(11,805,000千円) 実施期間=未定
- 宮城県版のGOTトラベル事業として、国庫補助制度を活用し、県内外からの観光需要を取り込み、県内の観光産業を支援する。宿泊施設利用時の宿泊代金割引、土産店や飲食店で利用できるクーポンの発行を予定している。なお、6月30日までは、2021年度補正予算の繰越により、2021年10月に開始したみやぎ宿泊割「泊まって応援！宿泊割引&クーポン付きプラン」を継続して実施する。

岩手県

【当初 観光予算】

281,602千円 (前年度比72.2%)

【予算額上位】

- ①三陸観光地域づくり推進事業費(37,141千円)
- ②観光事業推進費負担金(26,234千円)
- ③いわての魅力まるごと発信強化事業費(21,413千円)
- ④いわてインバウンド推進事業費(20,642千円)
- ⑤いわての新しい観光推進体制構築費(19,133千円)

【分野別主要事業】

- 日本人国内旅行誘客促進
- 観光事業推進費負担金(26,234千円)
- いわて観光キャンペーン推進協議会負担金(13,803千円)
- 北東北三県観光立県推進協議会負担金(12,342千円)
- インバウンド誘客促進
- いわてインバウンド推進事業費(20,642千円)
- いわてインバウンド新時代戦略事業費(18,974千円)
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など
- 三陸観光地域づくり推進事業費(37,141千円)
- いわての新しい観光推進体制構築費(19,133千円)
- 観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など
- 三陸観光地域づくり推進事業費(37,141千円)
- いわての新しい観光推進体制構築費(19,133千円)

◆観光需要喚起策

- いわて旅応援プロジェクト推進費
- 2021年度補正予算(11,377,593千円)※2022年5月以前の事業予算含む
- 実施期間=第2弾：6月30日宿泊分まで、第3弾：未定
- 第2弾：北海道・東北の居住者を対象に県内旅行の旅行代金割引、土産物店等で利用可能なクーポン券発行。
- 第3弾：県内外の居住者を対象に県内旅行の旅行代金割引、土産物店等で利用可能なクーポン券発行。

福島県

【当初 観光予算】

2,234,019千円 (前年度比90.7%)

【予算額上位】

- ①ホープツーリズム推進事業(303,905千円)
- ②教育旅行復興事業(279,020千円)
- ③くろがね小屋建替整備事業(272,908千円)
- ④観光関連団体連携推進事業(227,885千円)
- ⑤福島インバウンド復興対策事業(222,567千円)

【分野別主要事業】

- 日本人国内旅行誘客促進
- ホープツーリズム推進事業(303,905千円)
- 教育旅行復興事業(279,020千円)
- 観光関連団体連携推進事業(227,885千円)
- インバウンド誘客促進
- 福島インバウンド復興対策事業(222,567千円)
- 海外風評払拭情報発信事業(20,000千円)
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など
- 観光地域づくり総合推進事業(118,967千円)
- ふくしま体験周遊受入体制整備事業(14,200千円)
- 文化財等を活用した誘客促進事業(29,600千円)
- 観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など
- ふくしまDMO推進プロジェクト事業(21,553千円)
- 浜通り観光再生事業(38,819千円)

◆観光需要喚起策

- 福島県観光需要創出支援事業
- 2021年度2月補正予算(12,379,787千円) 実施期間=未定
- 国の補助制度を活用し、全国から観光需要を取り込み、県内の観光産業を支援する。県内外の在住者を対象に、宿泊・日帰り旅行代金の割引、土産物店や飲食店等で利用できるクーポンの発行を実施する。

山形県

【当初 観光予算】

521,307千円 (前年度比78.06%)

【予算額上位】

- ①観光連携推進事業費(86,349千円)
- ②ポストコロナに向けた観光復活推進事業費(41,491千円)
- ③観光誘客総合推進事業費(39,763千円)
- ④観光情報番組放映事業費(31,254千円)
- ⑤観光キャンペーン推進事業費(29,160千円)

【分野別主要事業】

- 日本人国内旅行誘客促進
- 観光誘客総合推進事業費(39,763千円)
- 観光キャンペーン推進事業費(29,160千円)
- さくらんぼを活用した誘客事業費(21,077千円)
- インバウンド誘客促進
- 広域連携推進事業費(20,660千円)
- 重点市場のポストコロナに向けた誘客推進事業費(15,754千円)
- 外航クルーズ船誘客事業費(7,546千円)
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など
- 観光デジタルマーケティング・プロモーション事業費(21,408千円)
- 「世界の蔵王」プロジェクト推進事業費(11,234千円)
- 精神文化ツーリズム推進事業費(10,870千円)
- 観光産業の振興・支援、人材育成など
- 観光連携推進事業費(86,349千円)
- ポストコロナに向けた観光復活推進事業費(41,491千円)
- 地域広域観光推進事業費(12,732千円)

◆観光需要喚起

- 観光誘客緊急対策事業費(県版GOTトラベルキャンペーン事業)
- 2021年度2月補正予算(8,222,009千円) 実施期間=未定
- 政府の補助制度を活用し、県内の宿泊施設への宿泊や日帰り旅行を行う際の割引、旅行期間中に県内の観光立寄施設等で利用できるクーポンの発行を実施する。

秋田県

【当初 観光予算】

5,921,880千円 (前年度比2000%)

観光関連産業消費喚起事業(秋田版GOTトラベル)による増

【予算額上位】

- ①インバウンド回復に向けた誘客促進事業(67,811千円)
- ②観光エリア強化支援事業(45,964千円)
- ③秋田ならではのツーリズム推進事業(31,560千円)
- ④広域連携による戦略的プロモーション事業(26,202千円)
- ⑤秋田の観光創生推進会議事業(25,000千円)

【分野別主要事業】

- 日本人国内旅行誘客促進
- 観光エリア強化支援事業(45,964千円)
- 秋田ならではのツーリズム推進事業(31,560千円)
- 秋田の魅力発見・発信事業(22,077千円)
- インバウンド誘客促進
- インバウンド回復に向けた誘客促進事業(67,811千円)
- 広域連携による戦略的プロモーション事業(26,202千円)
- 訪日外国人受入態勢整備事業(3,044千円)
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など
- 観光エリア強化支援事業(45,964千円)
- 秋田の観光創生推進会議事業(25,000千円)
- デジタルデータを活用したターゲット分析・誘客促進事業(20,930千円)
- 観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など
- 観光連盟強化支援事業(24,480千円)
- 観光連携団体共同事業(13,011千円)
- 「東北絆まつり2022秋田」開催支援事業(20,000千円)

◆観光需要喚起策

- 観光関連産業消費喚起事業(秋田版GOTトラベル)
- 2022年度当初予算(5,508,813千円) 実施期間=未定
- 国の補助制度を活用し、県内外からの旅行者を対象に、県内を目的地とする旅行商品や宿泊代金の割引を実施するとともに、土産物店、飲食店等で利用できる地域限定クーポン券を発行し、県内の観光流動を促進する。